



# 7月 医務室通信

2017.7 富山県立大学 医務室

## とっさの時の救急処置

夕方、東側出入口で、ジョキング中の方が倒れている。帰ろうとしていた、大学生(あなたと友達)は声を掛けたが、返事がない。しゃくりあげるような呼吸だけでもよくわからない。二人は顔を合わせた。どうしよう？

あなたは大きな声で近くにいる大学生にAEDを持ってきてくれるよう頼もう。友達はすぐに、携帯から119番にかけて救急車を呼ぼう。あなたは次に呼吸を確認しよう。

AEDが到着した。蓋をあけて電源をいれる。大学には蓋を開けると自動的に電源が入るのもあるよ。あとは音声AEDから流れるから、その指示どおりにするとよいよ。慌てない、あわてない！

普段通りの呼吸がない、または判断に迷う場合はすぐに胸骨圧迫を30回する。胸のまん中を、5cmほど沈むくらい、1分間に100回くらい。テンポは、昔小さいころ歌ったアンパンマンの曲くらい。人工呼吸ができるのであれば、顎を少し持ち上げて息を吹き込もう。人工呼吸2回、胸骨圧迫30回を繰り返しよう。

救急車がくるまで、長く感じるけど、たぶん射水消防署からは10分もかからない。救急車が到着するまで続けよう！

## 救急車が到着。

★★県立大学内のAED設置場所をお知らせします★★

- ①厚生棟2階談話室前 ②合同棟1階キャリアセンター前 ③研究棟2階設備室角 ④大谷講堂出入口 ⑤屋外部室

心臓突然死の大半は、心臓の筋肉が細かく震えるようにけいれんし、本来のポンプの働きができなくなり、心停止状態になることが原因でおこります。

素早く電気ショック(除細動)をおこなうことが、最も有効な救命手段です。

心停止状態から除細動実施までの時間が、1分経過するごとに約10%ずつ生存率が低下すると言われています。心停止から10分が救命の勝負です。AEDによる電気ショックは、心臓の細動をストップさせます。順番や回数を間違えても構いません。まずは、倒れている方をみたら、声をかけて、行動して下さい。